江州音頭をおどってみよう

９月９日

　滋賀県は昔、近江の国、また江州と呼ばれていました。この江州の名をとって「江州音頭」と呼ばれています。

　「江州音頭」は「商い音頭」とも呼ばれ、近江商人の影響も受けているようです。「江州音頭」には「そりゃ　よいとよいやまっか　どっこいさのせー」という掛け声が入りますが、「宵（夜）からよいや真っ赤（朝になるまで）どっこいさのせー」と、夜通し働いた姿を表しているそうです。

　また、動作の中でも、右手を肩の高さに上げて、「右の品物」、左手を上げて「左の品物」、振り返って「後ろの品物」を示し、両手を前に出し「品物を荷車で運ぶ」、手をたたいて「お買い上げありがとうございます」という近江商人の仕草が表されています。

　４年生が、伝統ある「江州音頭」を地域の方から受け継ぎ、「やすっこフェスティバル（運動会）」で行う演技につなげていく予定です。

野洲小学校地域学校協働活動